



2011年12月期
第3四半期（1～9月）
決算概要

2011年10月28日

株式会社 大塚商会

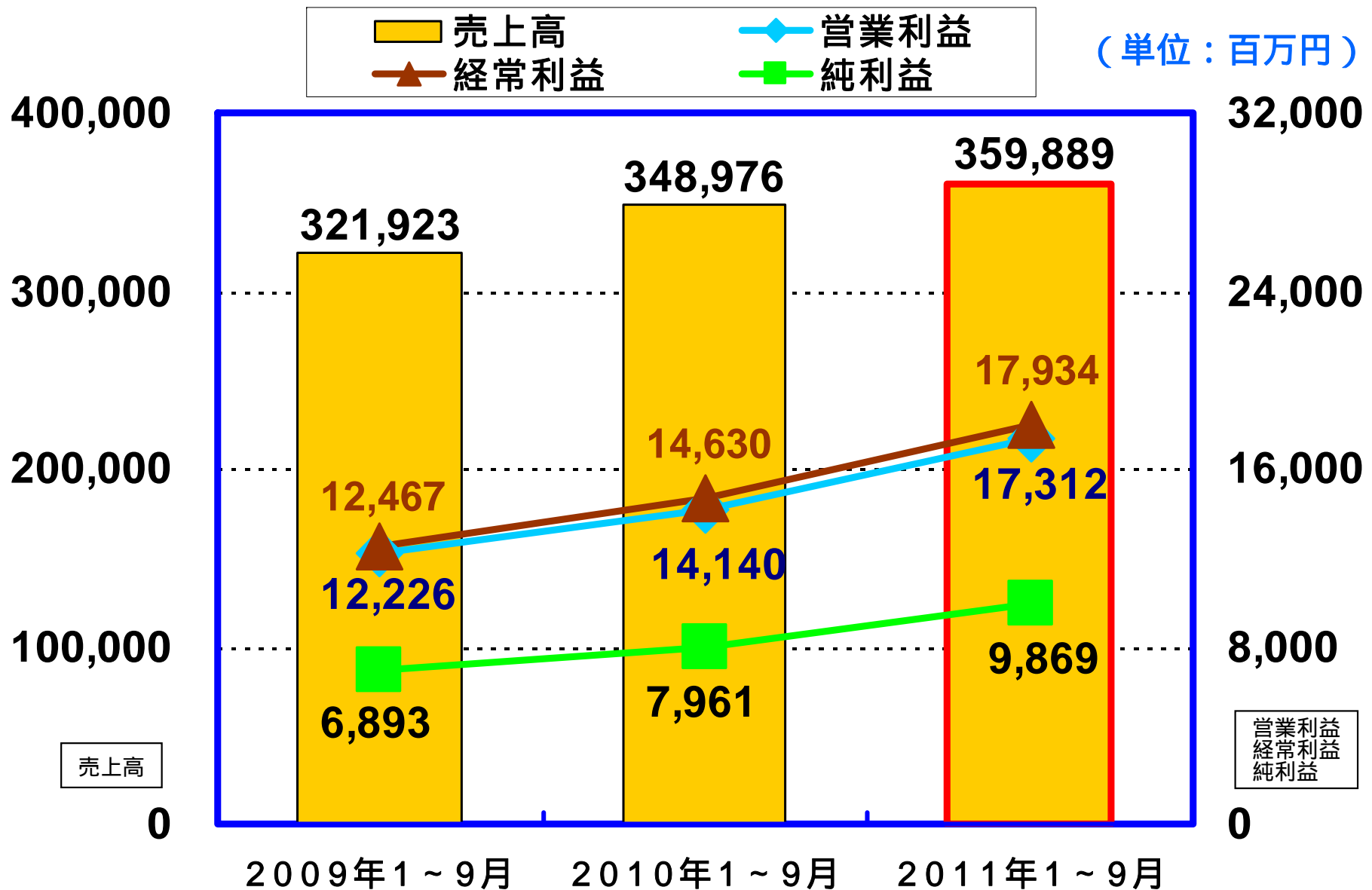
2011年1～9月 業績の概況

(単位：百万円)

	連 結		単 体	
	金 額	増減率	金 額	増減率
売 上 高	359,889	+3.1%	333,798	+2.4%
営 業 利 益	17,312	+22.4%	15,630	+18.7%
経 常 利 益	17,934	+22.6%	16,203	+17.8%
純 利 益	9,869	+24.0%	9,058	+20.4%

連結

売上高・利益の状況



外部環境

国内景気は緩やかに持ち直し傾向

世界経済は回復力が弱まり減速、欧州金融不安

円高継続、輸出は横ばい、株安

生産は緩やかに持ち直し傾向

倒産数は横ばい

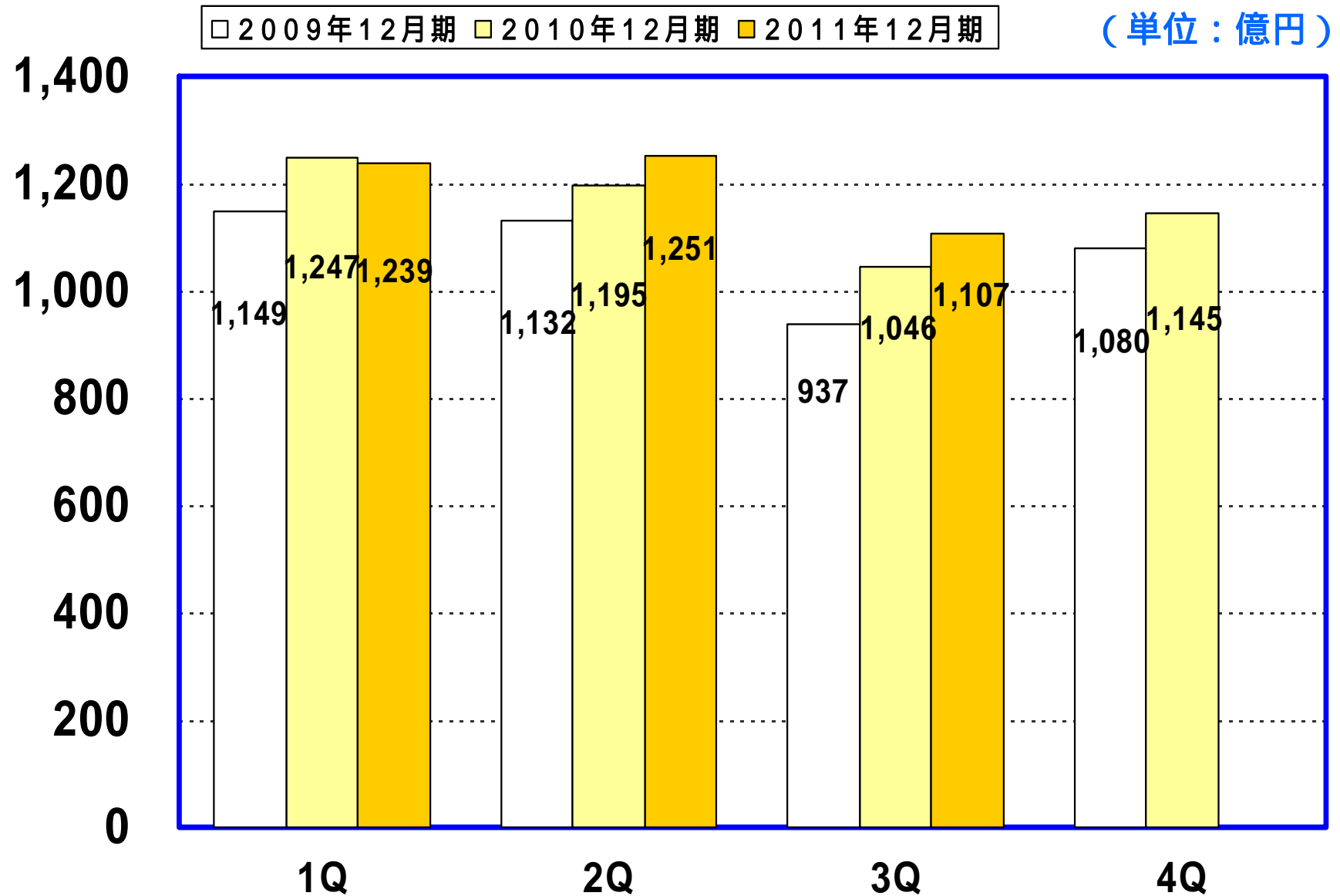
設備投資は下げ止まり

IT投資は持ち直し傾向

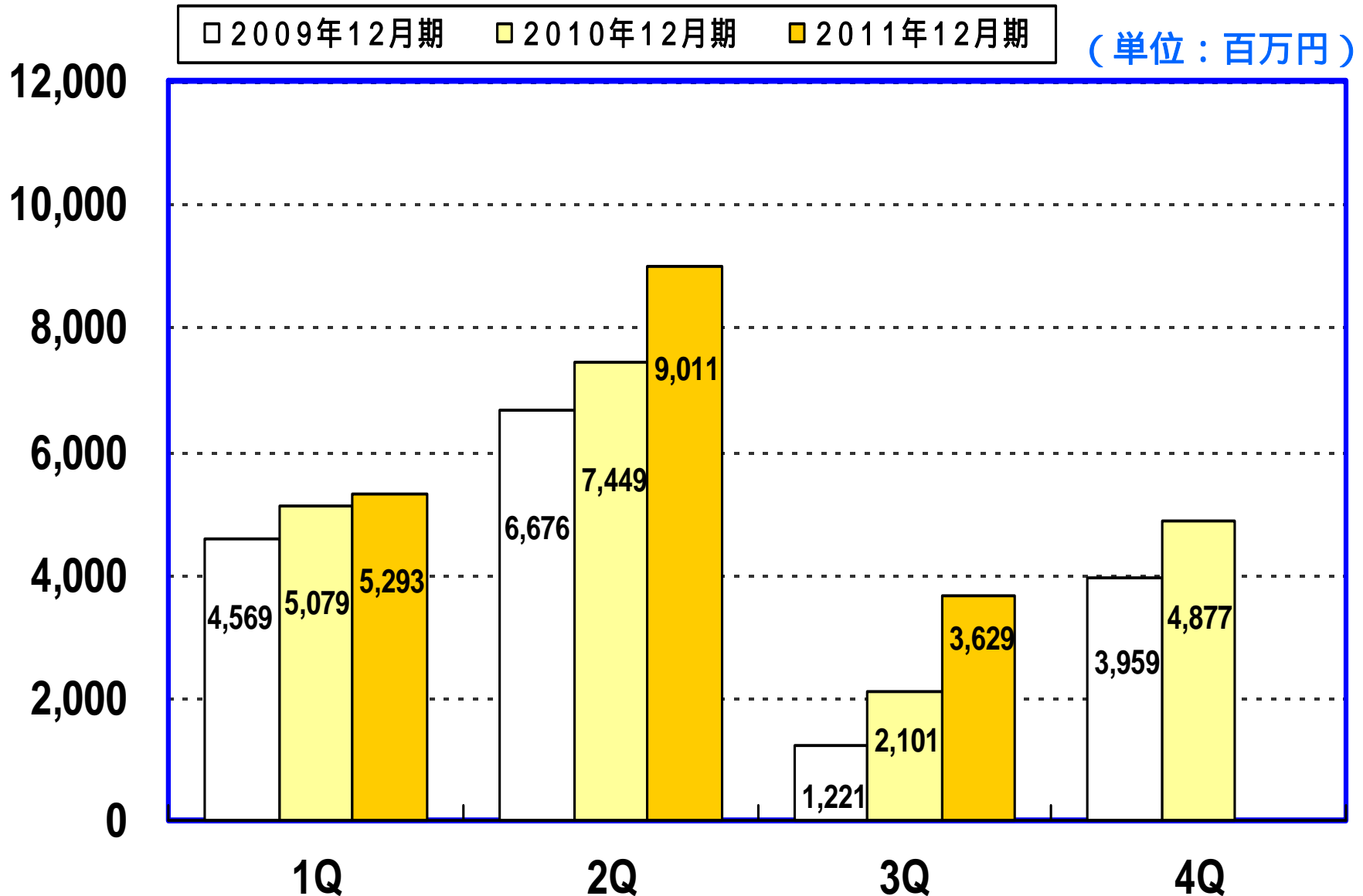
当社グループの取り組み

- コスト削減、生産性向上、競争力強化に繋がるシステム提案
- お客様接点の強化、フロントライン強化
- 「全員参加型」の活動
- 震災後のお客様ニーズに合った提案
- ストックビジネス強化
「たのめーる」、「たよれーる」

売上高の四半期推移



経常利益の四半期推移

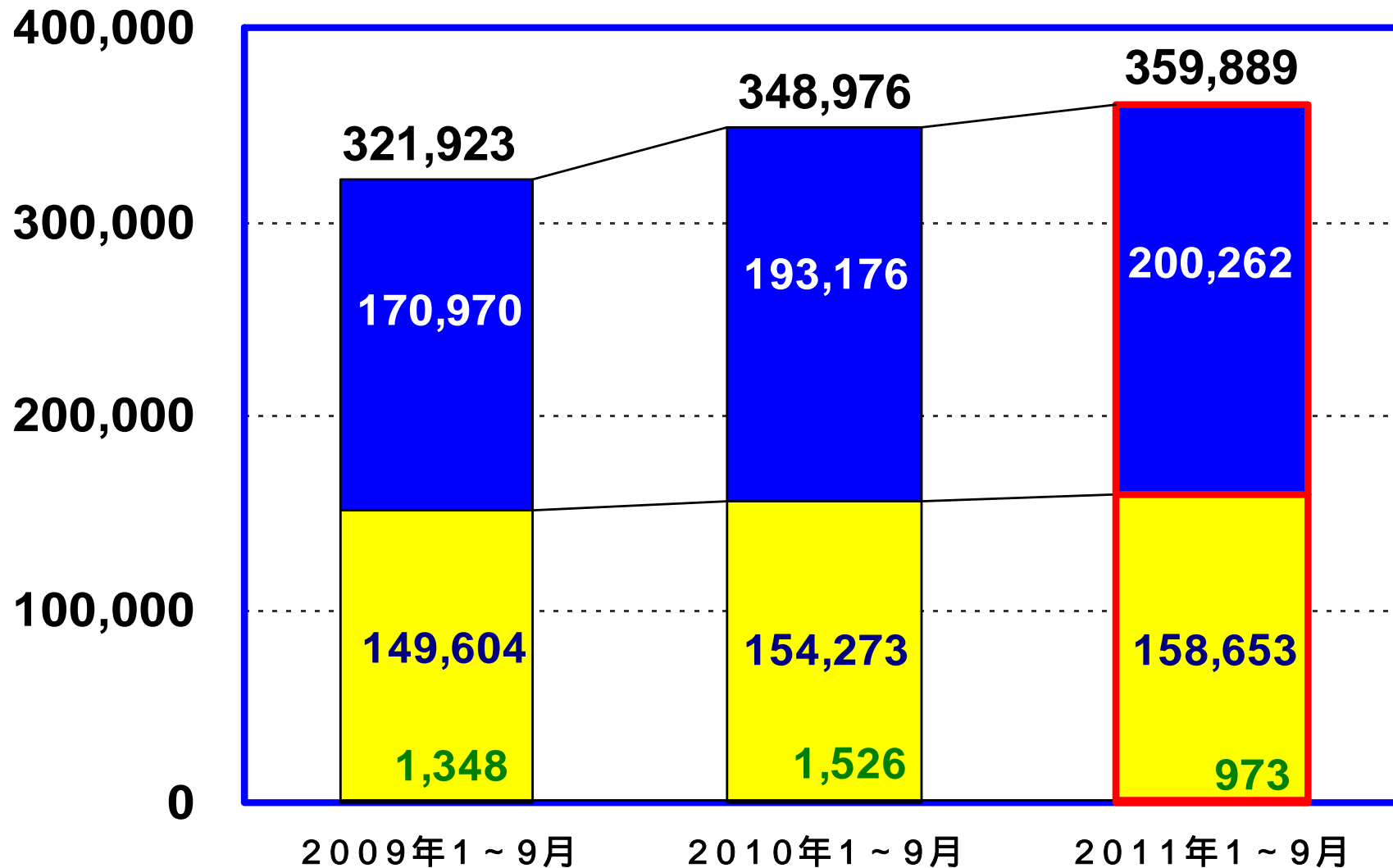


連結

セグメント別売上高

■ S I ■ S & S ■ その他

(単位：百万円)

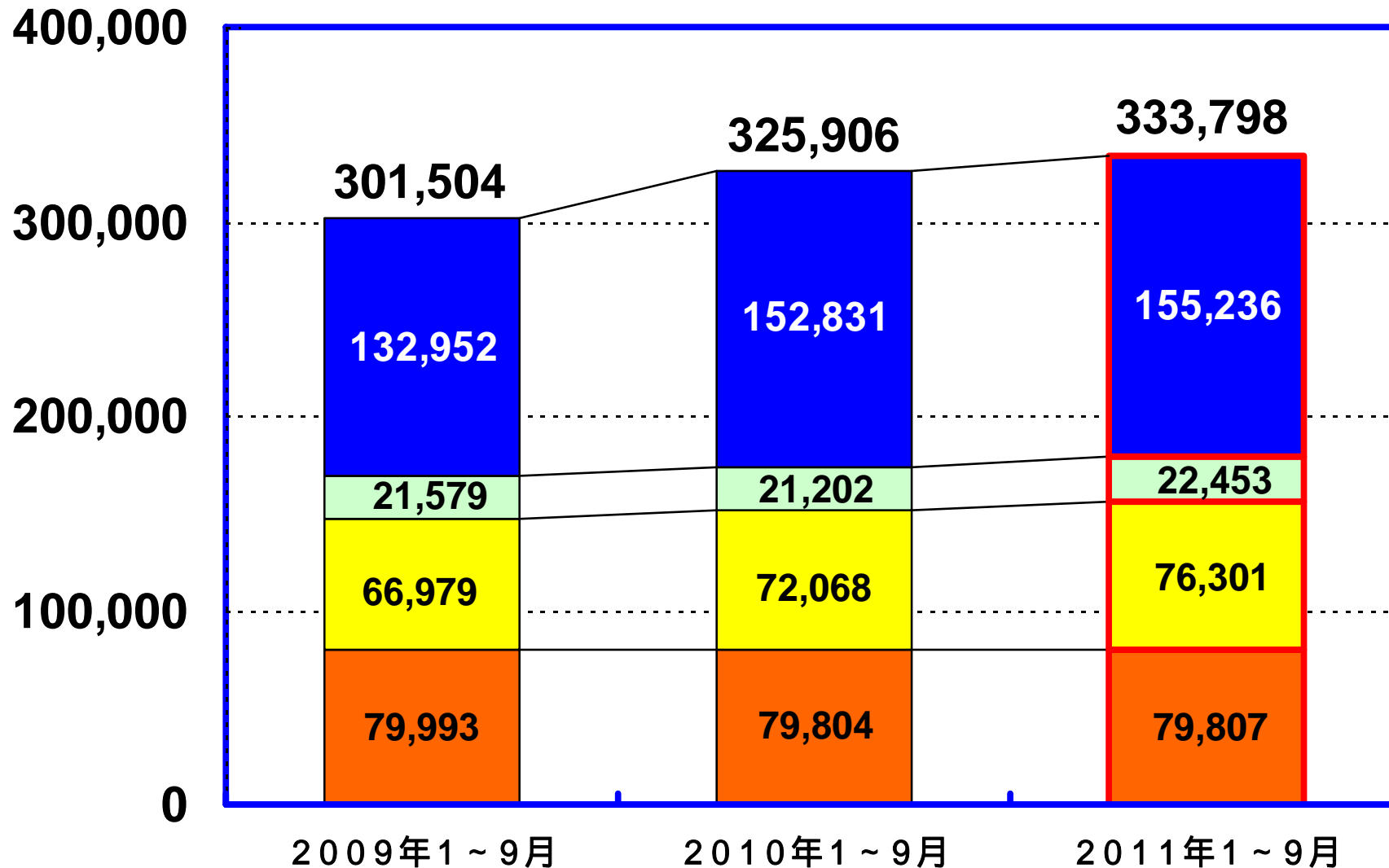


単体

詳細セグメント別売上高

■ S I 関連商品 ■ 受託ソフト等 ■ サプライ ■ 保守等

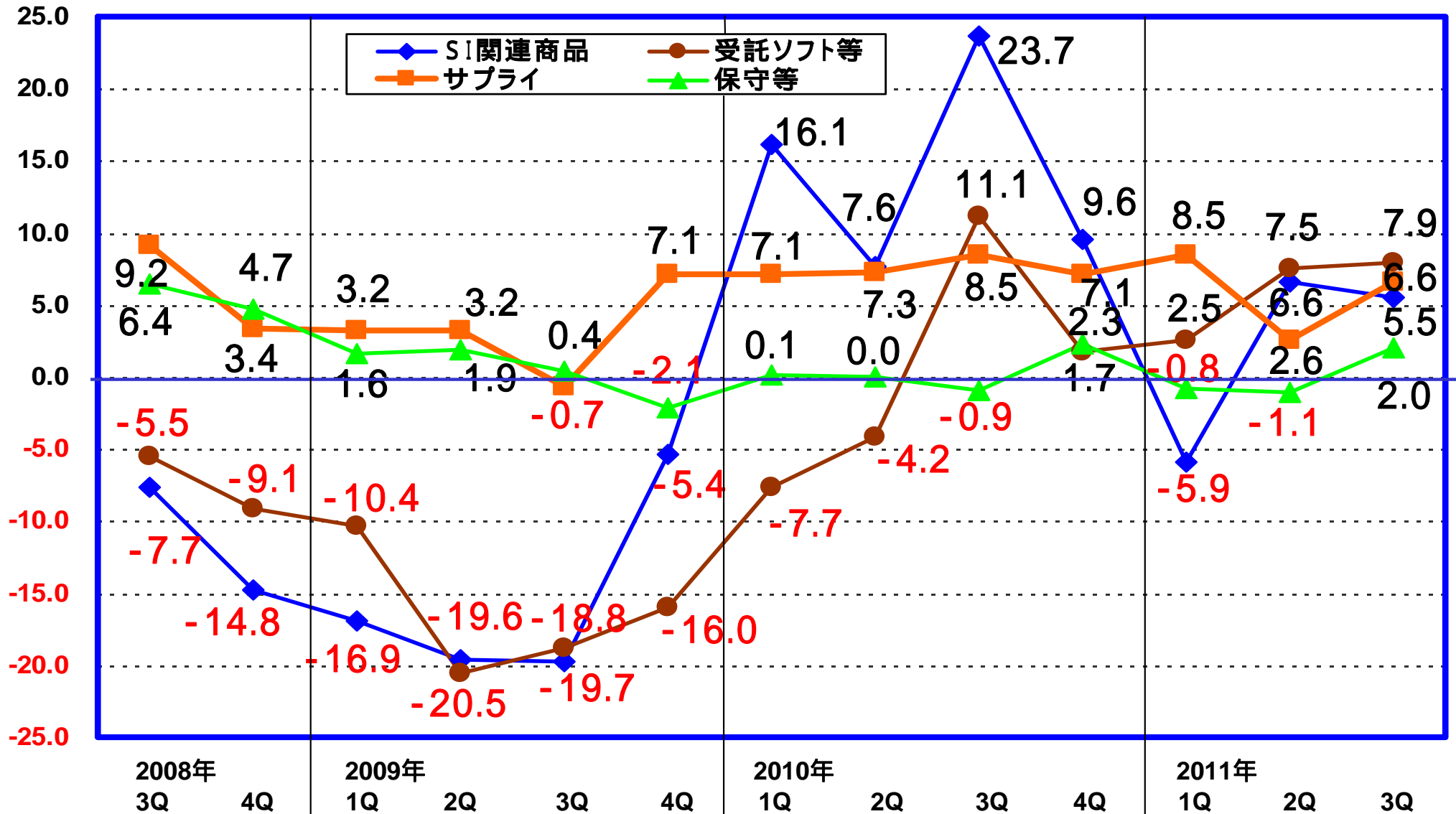
(単位：百万円)



単体

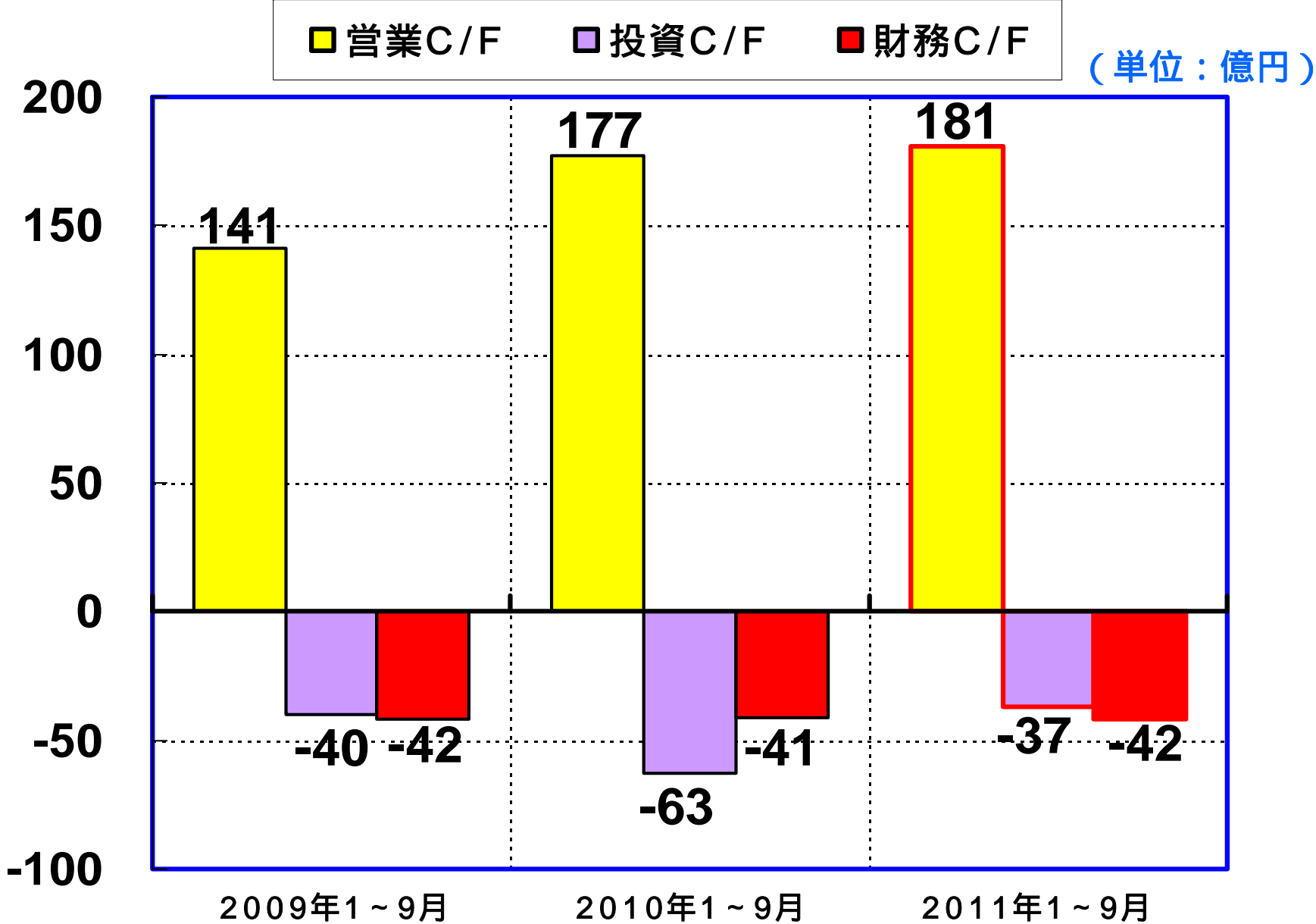
詳細セグメント別 売上高増減率の四半期推移

(単位：%)



連結

キャッシュ・フロー



連結

自己資本と有利子負債

(単位：百万円)

自己資本

有利子負債

自己資本比率

有利子負債比率

(単位：%)

120,000

60.0

90,000

45.0

60,000

30.0

30,000

15.0

0

0.0

99,735

52.0

9,832

5.1

105,541

50.8

8,895

4.3

113,721

52.1

8,277

3.8

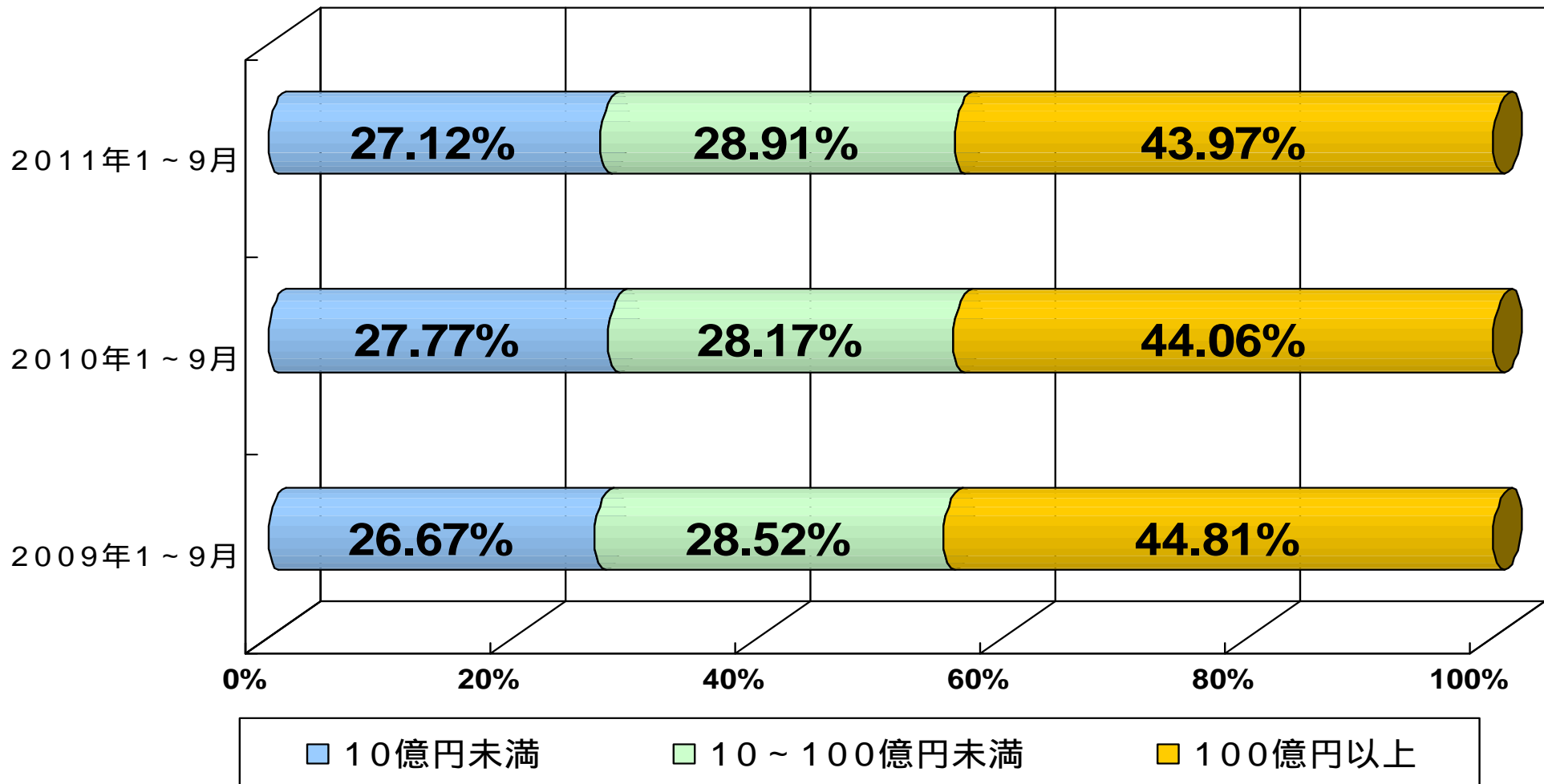
2009年9月末

2010年9月末

2011年9月末

単体

顧客企業の年商別売上構成



■ 10億円未満

■ 10～100億円未満

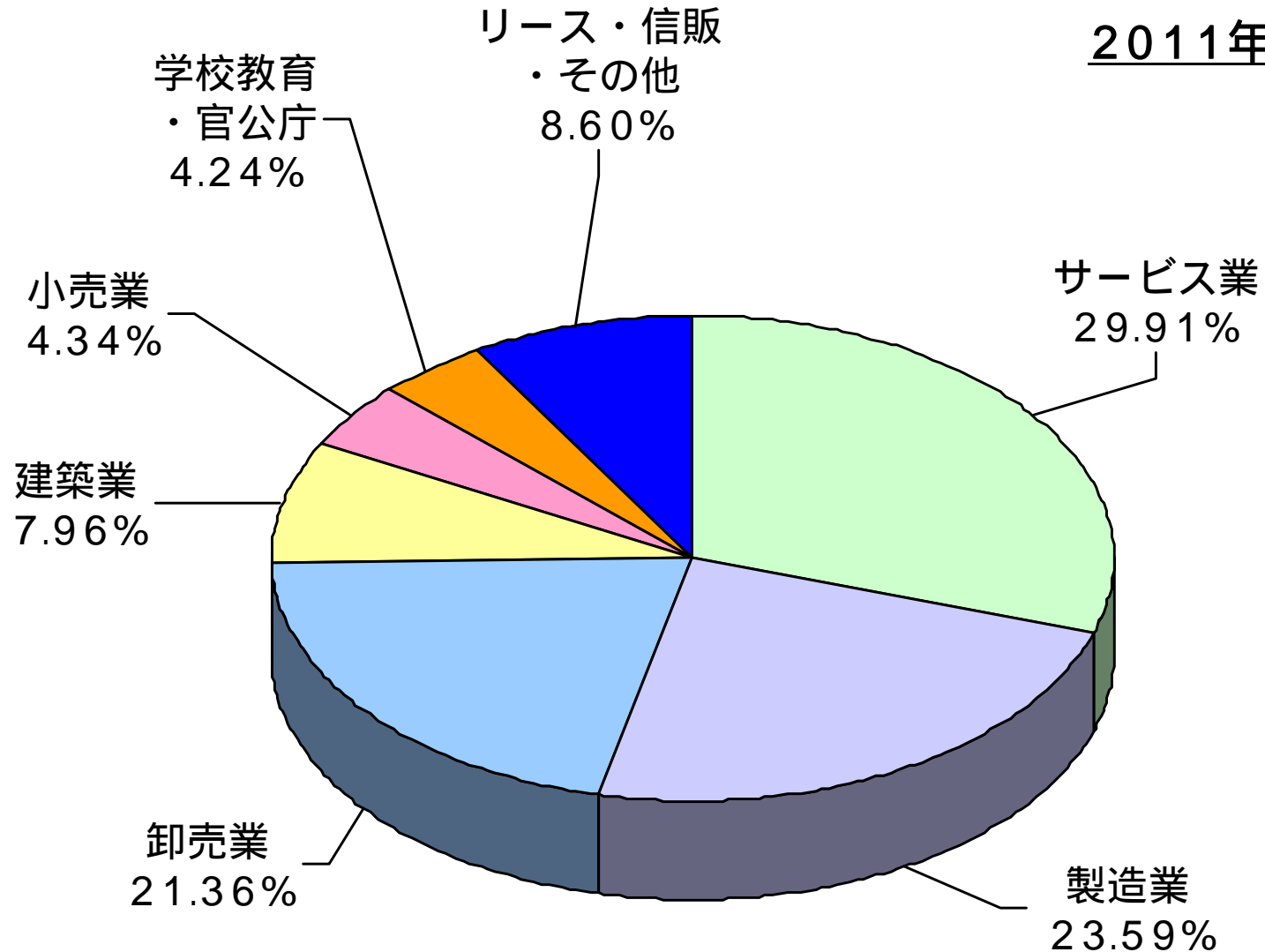
■ 100億円以上

10億円未満に、官公庁を含む

単体

顧客企業の業種別売上構成

2011年1～9月





重点戦略事業の状況

< 売上高 >

(単位：百万円)

	2009年 1～9月	2010年 1～9月		2011年1～9月		
	金額	金額	増減率	金額	増減額	増減率
たのめーる	67,849	74,313	+9.5%	79,089	+4,775	+6.4%
S M I L E	4,613	5,046	+9.4%	5,677	+631	+12.5%
O D S 2 1	24,543	28,953	+18.0%	30,190	+1,237	+4.3%
O S M	30,573	33,422	+9.3%	35,227	+1,804	+5.4%

< 参考：販売台数 >

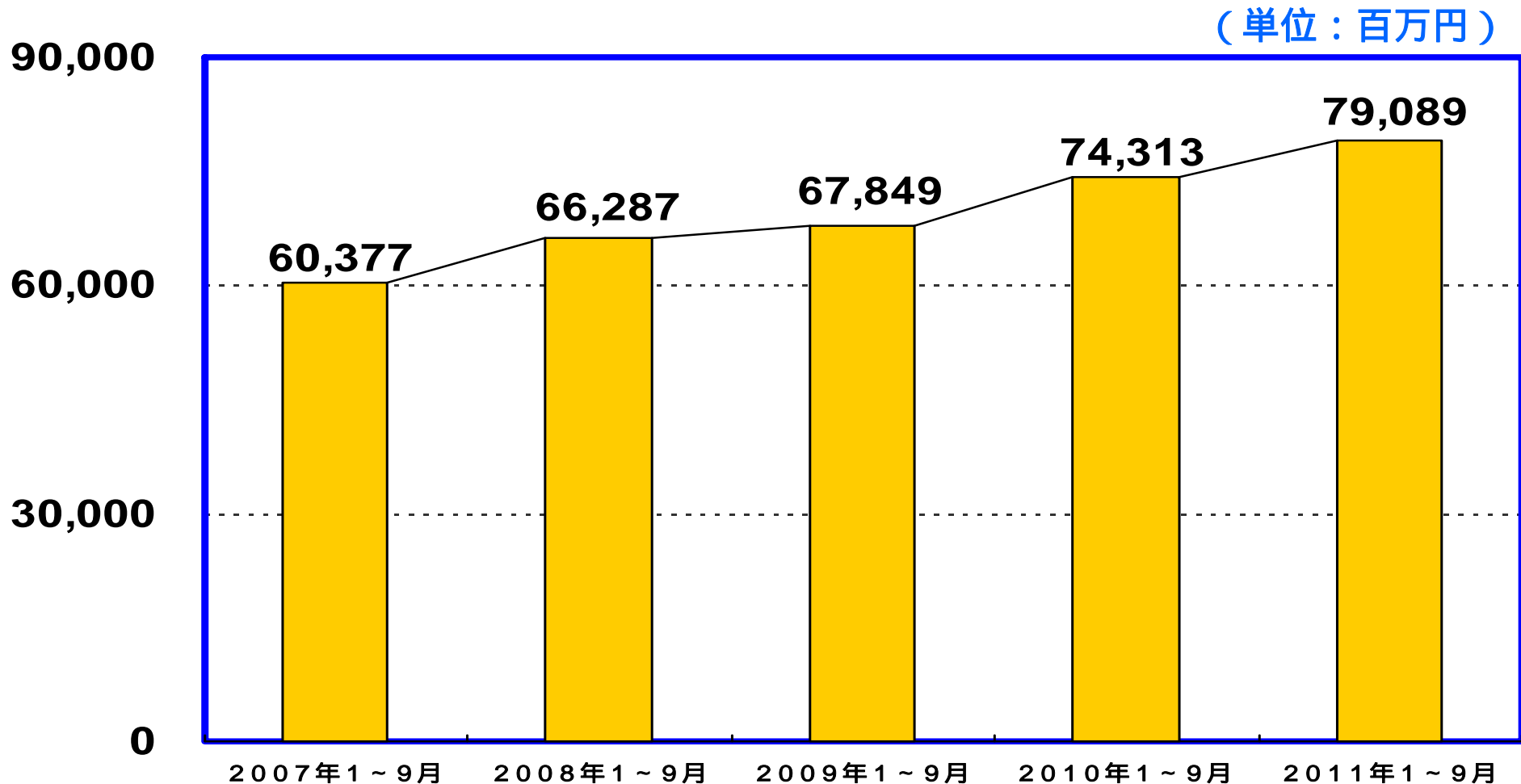
(単位：台)

複写機	18,074	20,186	+11.7%	21,774	+1,588	+7.9%
(内カラー複写機)	13,356	15,995	+19.8%	18,038	+2,043	+12.8%
サーバ	23,673	27,061	+14.3%	28,250	+1,189	+4.4%
パソコン	373,692	499,059	+33.5%	527,276	+28,217	+5.7%

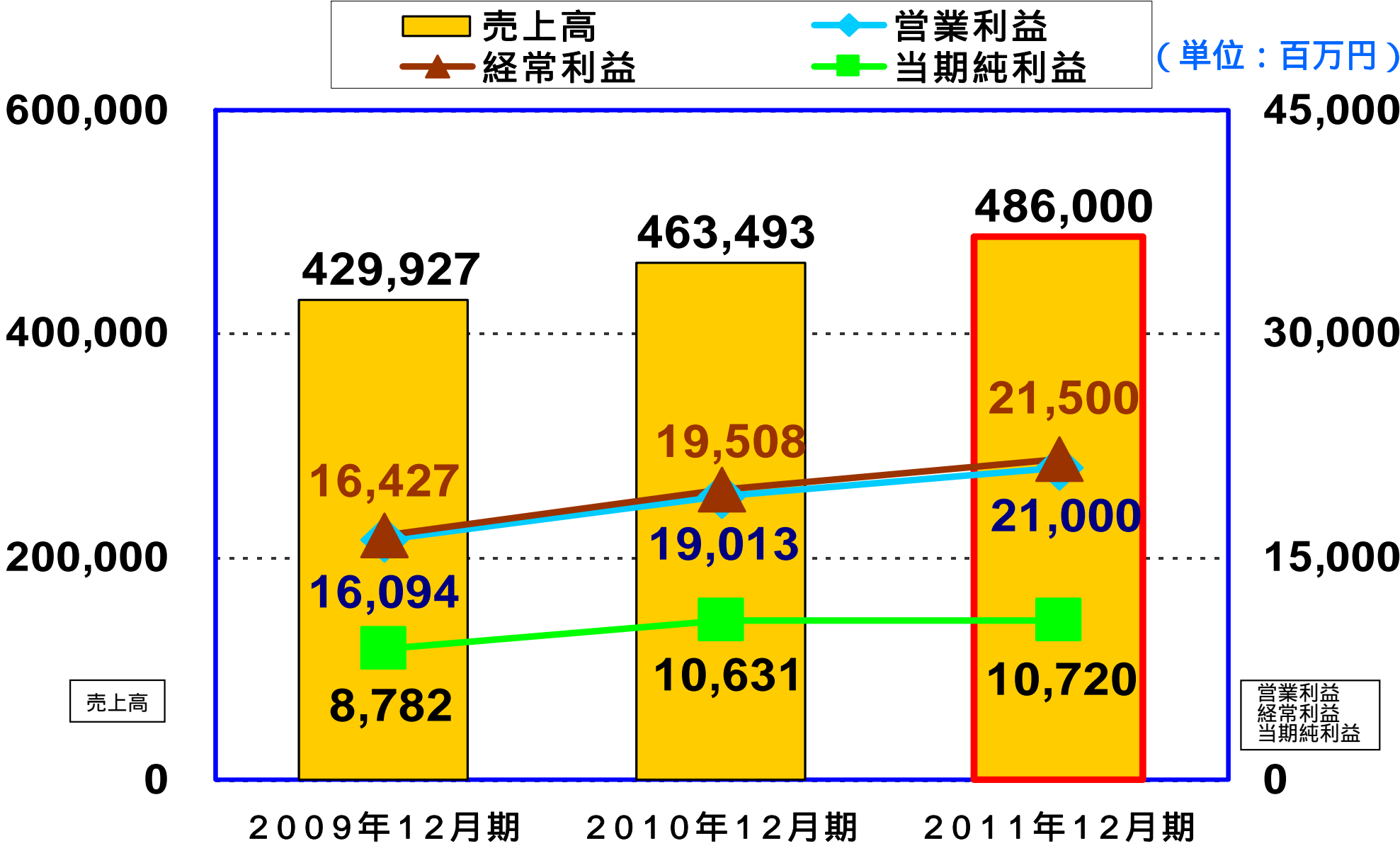
単体

たのめーる売上高

500円以上のご購入で、送料が無料に



売上高・利益の計画



社 会

お 客 様

信 頼 に 応 え る

株 主 様
取 引 先 様

従 業 員

本資料についてのご注意

- 1 . 本資料は、2011年12月期第3四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 2 . 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 3 . 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
- 4 . 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。